

## 平成 27 年度までの近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況

研究分担者：望月 秀樹 大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学  
研究協力者：高橋 正紀 大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学  
研究協力者：三原 雅史 大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学

### 研究要旨

近畿ブロック（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県）における、プリオン病疾患の疫学的状況を調査するために都道府県別の報告数の違いを検討した。サーベイランスシステムが開始されて以来、2013 年 11 月の時点で 563 例であり、そのうち大阪府が 48.3%を占めていた。この内 2010 年から 2013 年のデータでは大阪府症例の占める割合は 47%となっており、2015 年度のデータでは、大阪府の症例数が占める割合は 58 例中 26 例の 44.8%と人口比の 42.5%に近づいている。これらから、現状における近畿ブロック内でのプリオン病関連疾患の把握状況は各府県でほぼ同等であると考えられる。

### A. 研究目的

近畿ブロック（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県）における、プリオン病疾患の疫学的背景の違いを検討する。

### B. 研究方法

近畿ブロックのプリオン病関連疾患の、報告数を調査し、経年的データを 2015 年のデータと比較した。

#### (倫理面への配慮)

本調査では個人情報に該当する情報は含まれない。

### C. 研究結果

サーベイランスシステムが開始されて以来、プリオン病疾患の報告があったものは、近畿ブロックにおいて、2013 年 11 月の時点で、563 例であった。そのうち、大阪府が 283 例と多く、兵庫県が 132 例、京都府が 66 例、奈

良県が 28 例、滋賀県が 27 例、和歌山県が 22 例、他の県が 5 例であった。また、そのうち、2010 年 4 月から 2013 年 11 月までの報告数は大阪府が 70 例、兵庫県が 43 例、京都府が 26 例、奈良県が 5 例、和歌山県が 4 例であった。

一方、我々が担当となった 2015 年 4 月以降のデータでは、大阪府が 26 例、兵庫県が 15 例、京都府が 8 例、奈良県が 3 例、和歌山県が 1 例、滋賀県が 5 例であった。

### D. 考察

サーベイランスシステムが開始されて以来、2013 年 11 月の時点で 563 例であり、そのうち大阪府が 48.3%を占めていた。この内 2010 年から 2013 年のデータでは大阪府症例の占める割合は 47%となっており、2015 年度のデータでは、大阪府の症例数

が占める割合は58例中26例の44.8%と人口比の42.5%に近づいている。これらから、現状における近畿ブロック内でのプリオン病関連疾患の把握状況は各府県でほぼ同等であると考えられる。

#### **E. 結論**

現状における近畿ブロック内のプリオン病疑い患者の把握数はほぼ人口比に比例しており、把握状況における府県の差はほぼないと考えられる。

#### **[参考文献]**

なし

#### **F. 健康危険情報**

なし

#### **G. 研究発表（2014/4/1～2015/3/31 発表）**

#### **1. 論文発表**

奥野龍禎.脳炎. In: 望月秀樹・北川一夫・編. 神経内科クリニカルスタンダード. 文光堂. 東京. 2015:344-365

#### **2. 学会発表**

なし

#### **H. 知的財産権の出願・登録状況**

(予定を含む.)

なし

#### **1. 特許取得**

なし

#### **2. 実用新案登録**

なし

#### **3. その他**

なし